

令和6年5月24日

神奈川県教育委員会教育長 殿

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	荏田高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制普通科
-----	--------	------------------	--------

1 学校のミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 「知・徳・体」の調和のとれた人材の育成をめざし、健康・体育指導を重視して取り組んできた成果を生かしつつ、「文武両道」に励みながら切磋琢磨し、自主性を伸ばすとともに協調の精神を育む教育活動を展開する。
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力を育み、生徒が主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした授業を実践することにより、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

【目標】

本校の歴史と伝統を継承するべく、「文武両道で未来を拓く」をスローガンとして、「知・徳・体」の調和のとれた豊かな人間性、自ら未来を拓いていく自主性・主体性、また、自らの個性を尊重するとともに、他者を認め思いやる優しさや社会性を併せ持つ人材を育成する。

【3つの柱「情熱・挑戦・絆」】

- 何事にも**情熱**と向上心をもって取り組むことにより身に付ける自己肯定感を基盤とし、「文武両道」に励みながら日々切磋琢磨し、自ら設定した目標の達成に向けてがまん強く努力する「人間性溢れる生徒」を育む。
- 基礎学力の定着を図りながら、大学進学を視野に入れ、自らの可能性を信じ、課題解決に必要とされる能力の追究にねばり強く**挑戦**し続けることのできる忍耐力を備えた「自主性・主体性に富んだ生徒」を育む。
- 学校行事や部活動等で高められた集団効力感を発揮し、近隣小中学校や自治会等との交流や連携による地域とのつながりを広げるなど、**絆**を大切にし、他者のために自らの考えや思いを発信する力を備えた「社会性豊かな生徒」を育む。

3 計画策定時点での課題

- ICTをはじめとする学習環境の充実や教員の授業力向上を図ることにより、一人一台端末の有効活用に繋げる等、主体的、自主的に学習に取り組む態度を醸成、伸長する。
- 総合的な探究の時間を活用したキャリア教育を展開し、自己の適性や能力、関心を正しく把握し、主体的に進路目標を設定し、達成に向け自ら取り組む生徒を育成する。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協働し、課題を抱える生徒を発見しアプローチしていく能動的な生徒支援及び教育相談体制を確立するとともに、生徒のコミュニケーション力向上を図る。
- 部活動に対し志の高い生徒の増加を図り、指導力の高い部活動顧問を確保するなどし、日々の活動の更なる充実を図り、「部活の荏田」の維持、向上を図る。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ① 基礎学力の定着と大学進学を視野に入れた授業を実践する。 ② 主体的、自主的に学習に取り組む態度の醸成、伸長をめざした授業改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通教科・科目を中心としつつも、一般受験による大学進学への対応等を視野に入れた授業内容、展開を模索、実践する。 ・ 主体的、自主的に学習に取り組む態度を育成するとともに、十分な課題の準備等、それに応える授業改善を図ることにより、自律的学習・学習習慣を確立させる。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ① SCやSSWと連携した能動的・組織的な生徒支援体制及び教育相談体制を確立するとともに、教員の意識改革を図り多様性を認識し認め合う雰囲気醸成する。 ② 部活動の更なる活性化を図り、挨拶や素直な心を基盤とした人間関係形成力や自己表現力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部の専門機関へと繋げる等の対応を迅速にする生徒支援体制、教育相談体制の確立に向け、SCやSSWとの連携及び教員相互の連携を強化する。 ・ 部活動に対する志の高い生徒の増加に向けた取組みや、指導者の確保を図ることで、生徒の主体的な活動を支援する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒一人ひとりが自己理解を深め、将来を具体的に考える姿勢を育成する。 ② 主体的に進路目標を設定し、達成に向けた取組みの実践へと繋がる探究活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「総合的な探究の時間」を活用した「キャリア教育実践プログラム」の精選を図る。 ・ 講習や面接指導などの進路支援体制を充実させ、生徒の主体的な進路実現に向けた取組みに繋げる。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会との交流や連携・協働を通して、地域とのつながり・絆を強化し、地域の一員としての自覚を持つ「社会性豊かな生徒」の育成と「地域とともにある学校づくり」を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校との交流や地域貢献活動等、地域の活動に積極的に参加することで、生徒に地域の一員としての意識向上を促す。 ・ 日常の挨拶や素直な心等、本校生徒の長所を発揮させ、地域とのつながり、絆の醸成に貢献する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒と向き合う時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。 ② 職員が学校運営上の課題を理解・共有するとともに、リスクマネジメントの意識を徹底することにより、安全・安心な学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若手職員への指導力の継承や、ICTの活用による業務の効率化等に取り組む。 ・ 職員相互の日常的な言動が事故・不祥事防止に繋がるリスクマネジメントとなるよう、研修をはじめ、掲示物による可視化等の工夫を行う。

